

上位の政策名	政策目標7 スポーツの振興と健康教育・青少年教育の充実	
施策名	施策目標7 - 4 学校における健康教育の充実	
主管課及び関係課(課長名)	(主管課)スポーツ・青少年局学校健康教育課 (課長: 中岡 司)	
基本目標及び達成目標	基本目標7 - 4 児童生徒が健康で安全な学校生活を送れるような条件整備を行うとともに、生涯にわたって健康で安全な生活を自ら営んでいくための知識や態度を養う。	達成度合い又は進捗状況 概ね順調に進捗
	達成目標7 - 4 - 1(基準年度: H13年度 達成年度: H17年度) ----- 平成17年度までに、全中学・高校における薬物乱用防止教育について、実施割合を改善する。	-
	達成目標7 - 4 - 2(基準年度: H13年度 達成年度: H17年度) ----- 平成17年度までに、全ての学校における安全管理に係る取組を進め、学校における重大な事故件数を減らす。	概ね順調に進捗
	達成目標7 - 4 - 3(基準年度: H13年度 達成年度: H17年度) ----- 平成17年度までに、全小・中学校における食に関する指導の取組状況を改善する。	概ね順調に進捗
現状の分析と今後の課題	各達成目標の達成度合い(達成年度が到来した達成目標については総括)	達成目標7 - 4 - 1 平成14年度の達成目標の進捗状況については、具体の指標を踏まえた分析ができないため、判断するのは困難。 達成目標7 - 4 - 2 平成14年度の達成目標の進捗状況については、死亡見舞金支給件数が引き続き減少しており、概ね順調である。 達成目標7 - 4 - 3 平成14年度の達成目標の進捗状況については、取組状況が引き続き増加しており、概ね順調である。
	基本目標達成に向けての進捗状況	平成14年度の基本目標の進捗状況については、各達成目標の進捗状況が概ね順調であることから、十分と判断。
	今後の課題	薬物乱用防止教育については、従来より、薬物乱用防止教室の推進や教材の作成・配布等の取組を行ってきているところであるが、中・高校生の覚せい剤事犯検挙者数が依然として高い水準にあることを踏まえ、継続的な取組を行う必要がある。 学校安全については、従来より、各種教師用参考資料・児童生徒用教材の作成・配布や各種研修会の開催などの取組の充実を図ってきたところであるが、学校における事件・事故等が依然として大きな問題になっている状況を踏まえ、さらに安全管理に係る取組を充実する必要がある。 児童生徒に対する健康教育については、児童生徒期が発育・発達の著しい時期であることなどから、重要な意義と役割を持っている。児童生徒に対する食に関する指導を効果的に行うためには、小学校低学年の段階から、発達段階及び個々人の特性に配慮しつつ、組織的・体系的な取組を継続的に行う必要がある。
評価結果の15年度以降の政策への反映方針(政策評価法第11条に基づく総務大臣への通知事項)	薬物乱用防止教育については、平成15年度においても、薬物乱用防止教室の推進や教材の作成・配布等の取組を行う。 「子ども安心プロジェクト」の一環として、平成15年度においては、新たに、防犯教室の推進等に取り組みとともに、平成14年度に引き続き、地域ぐるみの学校安全推進モデル事業を行うなど、学校安全に係る取組の充実を図る。 現在、食生活学習教材は小学校高学年及び中学生を対象として作成・配布しているが、平成15年度においては、新たに、小学校低学年を対象とした教材も作成・配布することで、小・中学校一体となった食に関する指導を推進する。	

指標	指標名	1 0	1 1	1 2	1 3	1 4
	死亡見舞金支給件数 ()内は、供花料支給件数で外書き) (達成目標 7 - 4 - 2 関係)	145 (86)	135 (101)	134 (87)	119 (88)	95 (79)
	障害見舞金支給件数 (達成目標 7 - 4 - 2 関係)	769	686	625	542	609
参考指標	薬物乱用防止に関する指導の実施状況(中学) (達成目標 7 - 4 - 1 関係)(%)	-	90.5	-	-	-
	薬物乱用防止に関する指導の実施状況(高校) (達成目標 7 - 4 - 1 関係)(%)	-	90.6	-	-	-
	中・高校生覚せい剤事犯検挙者数 (達成目標 7 - 4 - 1 関係)	142	105	159	128	-
	学校栄養職員と教員によるチームティーチング 実施状況(小・中学校)(%) (達成目標 7 - 4 - 3 関係)	-	20.3	26.1	32.3	35.2
	学校栄養職員の特別非常勤講師としての活用状況 (小・中学校)(%) (達成目標 7 - 4 - 3 関係)	-	2.0	4.9	6.3	8.4
備 考						

施策目標7 - 4 学校における健康教育の充実

児童生徒が健康で安全な学校生活を送れるような条件整備を行うとともに、生涯にわたって健康で安全な生活を自ら営んでいくための知識や態度を養う。

学校保健の充実

達成目標7 - 4 - 1
平成17年度までに、全中学・高校における薬物乱用防止教育について、実施割合を改善する。

学校安全の充実

達成目標7 - 4 - 2
平成17年度までに、全ての学校における安全管理に係る取組を進め、学校における重大な事故件数を減らす。

食生活に関する教育の充実

達成目標7 - 4 - 3
平成17年度までに、全小・中学校における食に関する指導の取組状況を改善する。

青少年の薬物乱用等の問題

学校における事故の発生

朝食欠食の増加等の食生活の乱れ